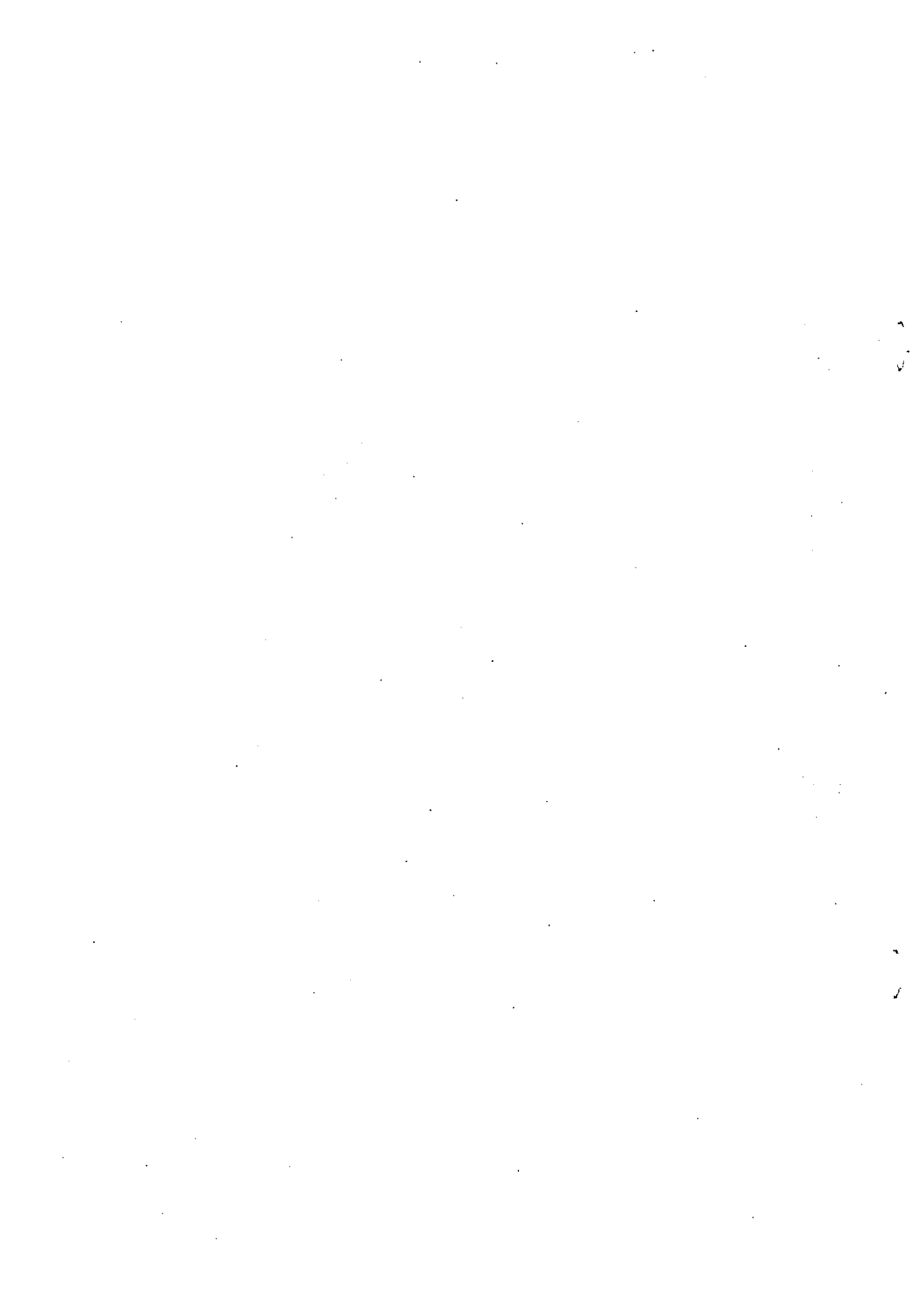


# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成29年7月21日)

- 1 航空自衛隊美保基地のC-2輸送機の飛行再開について  
【地域振興課】・・・1ページ
- 2 鳥取市の中核市指定の申出に関する県同意について  
【地域振興課】・・・3ページ
- 3 米子鬼太郎空港の「訪日誘客支援空港」の認定について  
【交通政策課】・・・4ページ
- 4 2019レーザー級世界選手権大会実行委員会設立総会の開催結果について  
【スポーツ課】・・・5ページ

地 域 振 興 部



## 航空自衛隊美保基地のC-2輸送機の飛行再開について

平成29年7月21日  
地域振興課

6月30日の県議会議員全員協議会での御意見を踏まえ、C-2輸送機の安全確保について、知事、境港市長、米子市長の3者で相談協議の上、7月1日に防衛大臣あての通知文書を美保基地司令に手交しました。

それを受け美保基地では、7月3日に県、境港市、米子市及び地元自治会長等に飛行再開の事前説明を行い、7月5日に飛行が再開されました。

県等において、操作手順書等の見直しや教育訓練等の状況及び飛行再開の状況について、現地で確認を行いましたので報告します。

### 1 県等から安全確保についての通知〔7月1日（土）〕

知事、境港市長、米子市長から美保基地司令にC-2輸送機の運用訓練の再開にあたっては、安全確保や地元説明を条件とする旨の防衛大臣あての通知を手交した。【資料のとおり】

### 2 美保基地から飛行再開の事前連絡〔7月3日（月）〕

美保基地から鳥取県、境港市、米子市及び地元自治会長等へ飛行再開の事前説明があり、県では、再開に向けた準備状況と再開後の訓練予定（段階的な訓練の実施）を確認した。

### 3 C-2輸送機の飛行再開〔7月5日（水）～〕

県及び境港市職員が立会するとともに、操作手順書の見直しや教育訓練等の状況を確認した。

#### (1) 飛行再開

①日 時：7月5日（水） 午前1回、午後1回の計2回 ※いずれの飛行も異状等なし。

（午前）10:30 離陸-11:00 着陸 （午後）15:00 離陸-15:27 着陸

②ルート：隠岐の島沖の訓練空域まで10分程度かけて飛び、20分程度飛行し戻ってくるルート

③飛行内容：手順を確認するため、通常の自動手順で離陸、飛行

④搭乗員：7月4日にシミュレーターで手順を確認した検定操縦士2名（いずれも美保基地所属）

※「検定操縦士」とは、計器飛行証明を有し、経験が豊富で技量優秀な教官操縦士

#### (2) 飛行再開に向けた教育訓練等

①C-2全操縦者への再教育の実施：6月中に再教育を実施。7月3日に全操縦士に再徹底。

②シミュレーター訓練：7月4日～ 検定操縦士を4日に実施。5日以降全操縦士が行う。

#### (3) 県による確認事項

①操作手順書等の見直しの状況〔7月5日（水）現地確認〕

・操作手順書（チェックリスト）及び操縦指令書（取扱説明書）に、操作手順、作動状況（画面表示）及び注意事項（警告等）が記載されていることを確認した。

②再教育訓練の内容 ※事故後6月中に実施し、7月3日に全操縦士へ再徹底した。

・操縦指令書において「警告」「注意」とされているものについて、理由を含め再確認する座学

・C-2輸送機の慣性基準装置（IRS）手順、ブレーキ操作の確認

※実機による訓練ではない。

### 4 飛行再開後の訓練・飛行試験の状況、今後の予定

(1) 確認飛行〔7月5日（水）、6日（木）、7日（金）、10日（月）〕

検定操縦士自ら又は各操縦士が検定操縦士同乗のもと離着陸操作をする基本操作訓練

(2) 運用飛行試験〔7月10日（月）以降〕

順次、全操縦士による飛行試験を実施する。

(3) 今後の予定

緊急時の運用訓練は8月以降に再開予定（6月9日事故時の緊急発進手順による運用試験を含む）

⇒再開前には、再度自治体に連絡を行うことを確認した。

第 201700086971 号  
発境都整第 59 号  
地政起第 192 号-1  
平成 29 年 7 月 1 日

防衛大臣 稲田 朋美 様

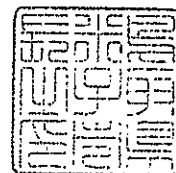
鳥取県知事 平井 伸治



境港市長 中村 勝治



米子市長 伊木 隆司



#### 航空自衛隊美保基地のC-2輸送機の安全確保について(通知)

航空自衛隊美保基地所属のC-2輸送機については、安全について万全を期すという約束の上にC-2への機種変更がなされたものであり、さる6月9日に発生した滑走路逸脱事故は、誠に遺憾であります。

地元の住民、県・市議会等からは、今回の事故を憂慮し、安全対策の徹底を図ること、地元への誠意ある説明を求めることなど、多くの意見が寄せられたところです。

については、万が一事故が発生した場合には大きな影響が及ぶ地元の不安を勘察し、美保基地所属のC-2輸送機の運用訓練再開に当たっては、下記の事項を遵守するとともに、これらの実施状況等について、随時鳥取県、境港市、米子市に報告することを条件とします。

#### 記

- 1 今後、このような事故が二度と発生することが断じてないよう、操作手順書等の改正や操縦者等への教育をはじめ安全対策を徹底し、万全の再発防止対策を実施すること。
- 2 今後配備する機体も含めて、システム上の安全対策を講ずるよう速やかに検討すること。
- 3 今後、不具合等が発生した際には、速やかに地元自治体に連絡するとともに、地元へ誠意を持って説明し、対応するほか、その後の運用については、鳥取県、境港市、米子市の了解をあらためて受けること。
- 4 住民の不安の払拭と信頼回復に向け、全力をあげて説明責任を果たすこと。

## 鳥取市の中核市指定の申出に関する県同意について

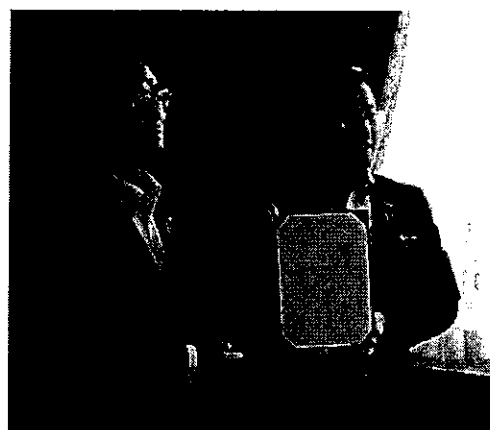
平成29年7月21日

地域振興課

鳥取市が総務大臣に「中核市」指定の申出を行うにあたり、地方自治法の規定により必要となる県議会の議決について、6月定例会に提出した当該議案（議案第18号）が可決されたことを受け、以下のとおり深澤鳥取市長へ県同意書を交付しましたので報告します。

### 1 県同意書交付式概要

- (1) 日 時：平成29年7月3日（月）  
午前11時40分～正午
- (2) 場 所：第4応接室
- (3) 要請者：鳥取市長 深澤 義彦  
（随行）副市長 羽場 恭一、  
中核市推進局長 田中 節哉
- (4) 交付者：鳥取県知事 平井 伸治  
（立会）統轄監 野川 聡、  
地域振興部長 高橋 紀子



#### 【知事の主な発言】

- 深澤市長の中核市移行の協力要請から3年を経て、理解の輪が大きく広がってきた。鳥取市の中核市移行は、県全体の地方自治においても、輝きのある大きな出来事。
- 県としても、引き続き深澤市政を応援し、来年4月からの中核市のスタートがうまく切れるよう、最大限努力したい。
- 東部4町にも安心して鳥取市の保健所行政サービスを受けていただけるよう、県と市で「連携協約」を結ばせていただきたい。

#### 【市長の主な発言】

- 7月下旬に総務大臣に申出を行い、順調にいけば、11月頃に告示される見込み。
- 鳥取は県と市町村の連携が密なのが強み。中核市への移行を、県東部と県が魅力あるまちであり続ける礎としたい。

### 2 今後のスケジュール

- 平成29年 7月25日 鳥取市長が総務大臣に「中核市指定を求める申出」  
11月頃 総務大臣が中核市に指定する政令を立案し、閣議決定により政令が成立  
⇒ 「鳥取市」中核市指定  
平成30年 4月 1日 鳥取市が「中核市」に移行

### 3 今年度の主な協議調整事項

- (1) 円滑な移譲に向けた体制づくり（事前研修・人事交流等の人的支援、災害医療体制など緊急時の県との連携体制の構築、など）
- (2) 1市4町の住民サービス維持のための連携協約の締結、知事権限移譲条例の改正等の11月議会（予定）への提案

## 米子鬼太郎空港の「訪日誘客支援空港」の認定について

平成29年7月21日  
交 通 政 策 課

訪日外国人旅行者数の増加を図るため、国土交通省が、今年度から、自治体等が誘客・就航促進の取組を行う地方空港を「訪日誘客支援空港」と認定した上で、総合的な支援措置を講じる制度を創設し、米子鬼太郎空港では、平成29年4月に申請を行い、7月4日に認定を受けました。

県では、この支援制度を活用し、航空路線の充実・強化、空港施設の機能向上を図りながら、更なる外国人旅行者数の増加につなげていきます。

### 1 訪日誘客支援空港の認定（計27空港）

空港毎に誘客実績等が異なる実情に合わせ、より効果的な支援を講ずる観点から、認定空港を以下の3つに区分。（※北海道は道内の空港をまとめて1空港とカウント）

区分	『拡大支援型』	『継続支援型』	『育成支援型』
内容	訪日誘客に一定の実績をあげているうえ、拡大に向けた着実な計画・体制を有しており、国の支援を拡大することにより、訪日旅客数のさらなる増加が期待される空港	訪日誘客に一定の実績をあげているうえ、着実な計画・体制を有しており、引き続き、国の支援を実施することにより、訪日旅客数のさらなる増加が期待される空港	訪日誘客に高い意欲を持ち、国による伴走支援により、訪日旅客数の増加が期待される空港
認定空港数	19空港（北海道内6空港、青森、仙台、茨城、新潟、小松、静岡、南紀白浜、米子、岡山、広島、山口宇部、徳島、高松、松山、北九州、佐賀、熊本、鹿児島）	6空港（花巻、福島、長崎、大分、宮崎、那覇）	2空港（松本、下地島）

### 2 『拡大支援型』の訪日誘客支援空港に対する国の支援

#### (1) 新規就航・増便への支援〔航空会社への支援〕

##### ①国管理空港の国際線着陸料割引

割引率1/2以上、最大3年間

##### ②国際線新規就航等に係る経費補助

チケットカウンター設置・使用料等、地上支援業務（グランドハンドリング）経費等（1/3補助、最大3年間）

#### (2) 空港受入環境の整備等〔空港ビル会社等への支援〕

##### ①旅客の受入環境高度化

空港ビル等による出入国容量拡大等に資する施設の整備（1/3補助）

（待合スペース、手荷物ハンドリングシステム、搭乗橋（PBB）、ランプバス、交通アクセス施設等）

##### ②CIQ施設の整備

空港ビル等によるCIQ施設の整備（1/2補助）

### 3 支援制度を活用した米子鬼太郎空港における今後の取組

#### (1) 定期便増便等への働きかけ

支援制度を活用した定期便の増便に向けて働きかけるとともに、チャーター便の就航等により、海外誘客対策を推進する。

#### (2) 空港施設の整備等

空港ビルにおいて、2階搭乗待合室、1階国際線手荷物受取所・税関検査場、国際線到着ロビーの狭隘等が課題となっており、米子空港ビル（株）を中心に、今回の支援制度を活用した平成30年度からの改修工事の着手に向けて検討する。

## 2019レーザー級世界選手権大会実行委員会設立総会の開催結果について

平成29年7月21日  
スポーツ課

2019年に鳥取県境港市で開催予定のセーリング競技・2019レーザー級世界選手権大会の開催準備を進めるため、日本セーリング連盟等の競技団体をはじめ、関係機関・団体の関係者が集まり、2019レーザー級世界選手権大会実行委員会設立総会を開催しました。

1 日時 7月11日(火) 午後1時30分～3時

2 場所 夢みなとタワー(境港市竹内団地)

### 3 構成団体

#### 《競技団体》

日本セーリング連盟、日本レーザークラス協会、  
鳥取県セーリング連盟

#### 《行政》

境海上保安部、中国運輸局鳥取運輸支局、  
境港管理組合、鳥取県、境港市

#### 《その他》

県体育協会、県漁業協同組合、境港商工会議所、境港市観光協会、県看護協会、県立境港総合技術高校ほか



4 内容 規約の制定、役員 の 指名、平成29年度事業計画・収支予算等の審議など

(1) 役員 委員長：県セーリング連盟会長 安田 優子

副委員長：日本セーリング連盟会長 河野 博文、

日本レーザークラス協会会長 加藤 重雄、県セーリング連盟副会長 善波 周

(2) 推進体制 競技・催事・広報部会及び各部会間の連絡調整会議を設置。

(3) 事業計画 ホームページや広報物(パンフレット、ポスター等)の制作、先進大会の視察、大会で使用するチャーター艇の整備等を行う。

(4) 主なコメント

・河野会長：2019年の世界大会を大成功させて、この海、風光明媚なこの地元を世界中のセーラーに知ってもらうことで、2019年以降も境港が世界のセーラーに知られたハーバーになるよう心から期待している。

・加藤会長：日本で国際レースができる場所は非常に少ないが、その一つがここ。この地にレーザーが根ざし、大会後にレガシーが残り、さらに選手の供給基地として、またレベルアップ基地となれば、この大会を開催する価値がある。

### 5 競技の観覧

設立総会終了後、委員にセーリング競技についての理解を深めてもらうため、夢みなとタワー展望室から、セーリング・レーザー級の模擬レースを観覧した。

### <参考：大会開催概要>

1 大会名称 2019レーザー級世界選手権大会

英語表記「2019 Laser World Championships」

2 開催期間 平成31年(2019年)5月～9月(予定)のうち約3週間

3 開催場所 境港公共マリーナ(境港市新屋町)及び美保湾内洋上

4 競技種目 セーリング競技レーザー級(男子)160艇

〃 レーザーラジアル級(女子)120艇

※出場選手の9割は海外から参加予定

5 主催 日本セーリング連盟、国際レーザークラス協会、日本レーザークラス協会、  
鳥取県セーリング連盟

6 運営 2019レーザー級世界選手権大会実行委員会

7 その他 東京2020オリンピック大会代表(国粋獲得)選考レース

